

# 桜川公園官民連携事業（P-PFI）の導入検討

---

1. 官民連携事業導入の経緯と目的
2. 今年度の検討の基本的な流れ
  - 2.1 検討フロー
  - 2.2 現況調査の実施
  - 2.3 サウンディング型市場調査の実施
  - 2.4 公募設置等指針案の作成
3. 今後のスケジュール

# 1.官民連携事業導入の経緯と目的

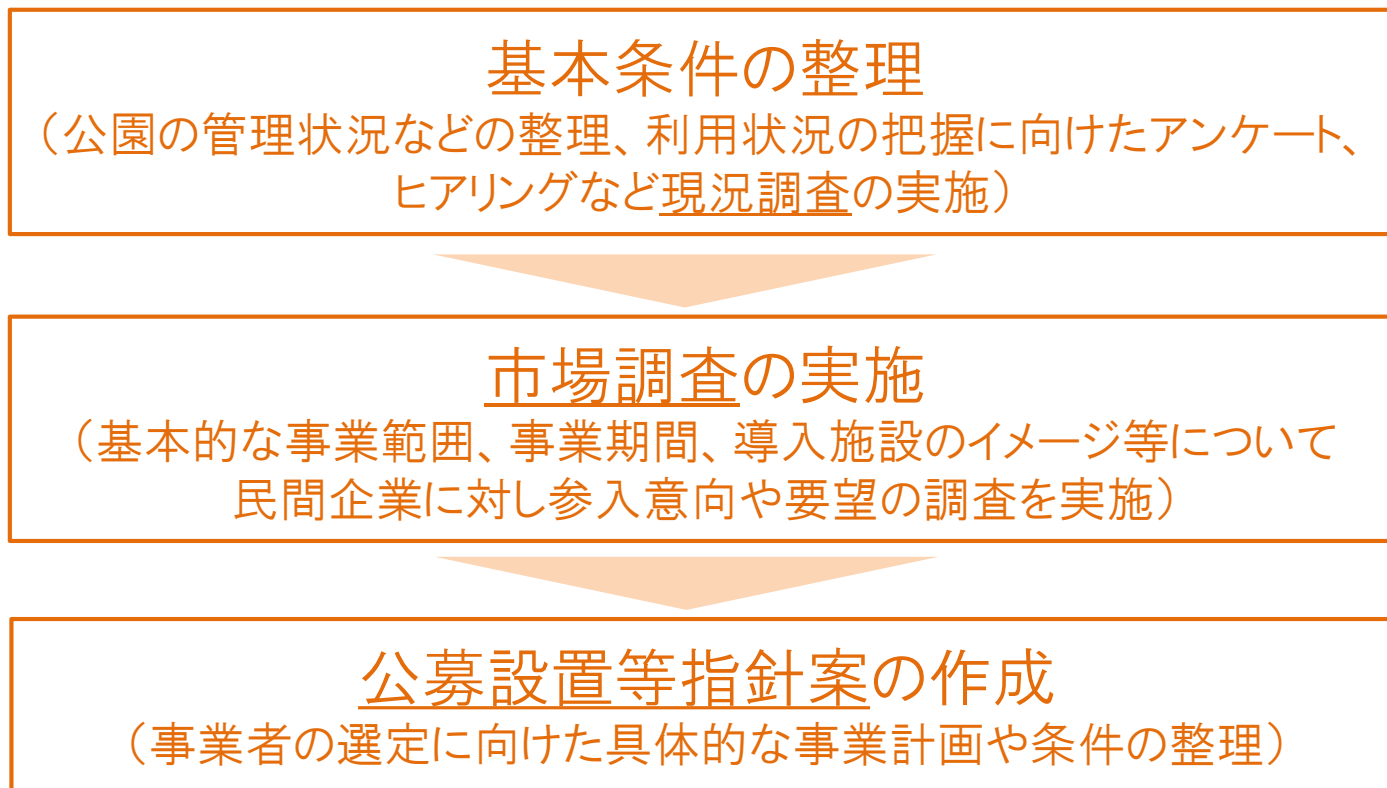
- 「中央区緑の基本計画」(H31.3)に基づき、公園の魅力向上と効率的な維持管理体制の構築に向けて、公募設置管理制度(P-PFI)の導入方向性や考え方をまとめた「公園の魅力向上に向けた官民連携方針」(R4.7)を策定
- R3年度より区立桜川公園(京橋エリア)を先行的な検討対象として選定、R4年度より本格的な検討を開始



## 2.今年度の検討の基本的な流れ

### 2.1 検討フロー

R4年度の主な検討は以下の流れで実施する。



## 2.今年度の検討の基本的な流れ

### 2.2 現況調査の実施

- ✓ 京橋地域(八丁堀・湊エリア)に位置する桜川公園は地域住民や周辺のオフィスワーカーの貴重な憩いの場。
- ✓ 周辺ではR3年度の桜川敬老館・保育園の改修やR4年度12月予定の「ほんの森ちゅうおう」のオープンなど、区民の利便施設の集積が進んでいる。



多様なステークホルダー(公園にかかわる人)の意見を収集し、課題やニーズを把握する必要がある



## 2.今年度の検討の基本的な流れ

### 2.2 現況調査の実施

現況調査は、前ページのステークホルダーを対象に、以下の3つの手法で行う。  
(各調査の詳細は参考資料2-①参照)

#### Webアンケート調査

→中央区在住のWebモニタ登録者を対象としたアンケート調査(実施中)

#### 利用者アンケート調査

→公園を実際に使っている人を対象とした現地アンケート調査(実施中)

#### 地域ヒアリング調査

→町会・自治会、地域事業者、周辺公共施設ユーザー、地域団体などへのヒアリング調査(実施中)

## 2.今年度の検討の基本的な流れ

### 2.3 サウンディング型市場調査の実施

#### サウンディング型市場調査とは

→活用検討の早い段階でその活用方法や課題について民間事業者と対話を行い、幅広く意見・提案をもらうことで、活用の可能性や事業者が参加しやすい公募条件などを把握するための調査で、P-PFI事業で多く用いられる手法。

#### 【主な実施内容(案)】

##### ✓ 説明会や現地見学会の実施

→調査の目的や中央区の意図、現状の課題などをスムーズに伝達

→web説明会などICTを活用した多くの事業者が参画しやすい環境づくり

##### ✓ 民間事業者への情報提供

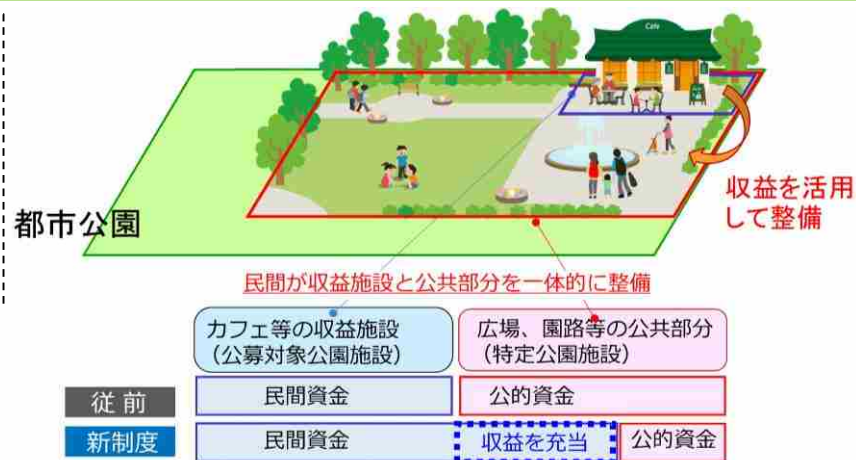
→前段のアンケート・ヒアリングに基づく現況調査結果を活用した説明資料(官民連携事業方針:参考資料2-②参照)の提示

## 2.今年度の検討の基本的な流れ

### 2.4 公募設置等指針案の作成

#### 公募設置等指針とは

→P-PFI制度に基づく民間事業者の公募に当たり、公園管理者(中央区)が各種募集条件等を定めるもの。



#### 【公募設置等指針の主な内容】

- ✓ 公募スケジュール
- ✓ 事業期間
- ✓ 公募対象公園施設に関する条件
- ✓ 特定公園施設に関する条件
- ✓ 利便増進施設に関する条件
- ✓ 公園使用料の最低額
- ✓ 評価基準
- など

|          |  |
|----------|--|
| 公募対象公園施設 | 民間資金によって設置される収益施設で、公園利用者の利便の向上を図る上で特に有効と認められるもの。カフェやレストラン、売店、屋内子供遊び場など |
| 特定公園施設   | 公募対象公園施設から上がる収益を活用して整備する広場や園地など公共的な施設                                  |
| 利便増進施設   | 選定された事業者が公園内で専用物件として設置できる自転車駐車場や情報提供のための看板、広告塔など                       |

# 3. 今後のスケジュール

## 桜川公園における官民連携事業導入の全体スケジュール(案)

